

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表
(評価対象年度:令和4年度)

<施設概要>

施設	せんがわ劇場
施設の設置目的	市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点とするとともに身近に芸術文化に触れる機会を提供することにより、芸術文化の振興を図る
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日
指定管理者	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
所管部署	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課

<施設の過去3箇年の主な管理実績>

※せんがわ劇場は平成31年4月から、新たに指定管理者制度を導入しています。

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業参加者数	3075人 ライブ配信視聴回数 317回 配信視聴回数 3586回	5324人 ライブ配信視聴回数 862回 配信視聴回数 1605回	7441人 ライブ配信視聴回数 669回 配信視聴回数 722回
貸出施設稼働率	ホール:69% リハーサル室:77%	ホール:83% リハーサル室:85%	ホール:91% リハーサル室:89%
指定管理料(市決算額)	5751万3255円	4976万6629円	5399万1047円
利用料金収入	6万1350円	781万7850円	473万9850円

<指定管理者における全体総括>

令和4年度は、地域の文化拠点として、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の3施設の一体的な活用を推進し、文化芸術の振興に取り組みました。また、市直営期から引き継いだ「せんがわ劇場運営プラン(平成25年度～令和4年度)」の最終年度として、事業来場者アンケートや市民意識調査により、地域の実情やニーズを調査・分析した結果を踏まえ、指定管理者としての専門性・独自性を生かしながら、公演、普及啓発、人材養成の各事業に取り組むとともに、令和6年度を計画初年度とする当財団の後期基本計画策定に向けた検討を行いました。

第1に、事業運営では、東京2020大会のレガシー継承のため、引き続き、財団独自のテーマである「100年後の君へ。」を掲げ、共生社会の充実、次世代への伝統文化の継承、地域の文化資源の活用、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成などに取り組みました。親子向け企画として人気のある公演「親と子のクリスマスメルヘン」では、テレビなどでも活躍する絵本作家をビジュアルデザインに起用し、0歳児から入場できる赤ちゃんOKデーや白百合女子大学との連携によるワークショップ、仙川商店街でのパレードも行いました。また、アウトリーチ事業の実施先を拡充し、市内全域に向けた舞台芸術の普及啓発を図りました。このほか、多様なライフスタイルにあわせた文化芸術鑑賞の機会として、仕事帰りの時間帯に気軽に楽しめる「あなたのための音楽会」を新たに実施しました。

第2に、施設管理運営では、マスク着用や手指消毒等、利用者にも感染拡大防止への協力を求めながら、安全・安心な施設運営に努めました。また、窓口での対応やアンケートなど多様な手段により、利用者の声の反映に努めたほか、適切な維持管理による施設の長寿命化と省エネルギー化により、ライフサイクルコストの縮減に取り組みました。

第3に、組織運営では、多様な働き方と効率的な事務遂行のため、ペーパーレス化やオンライン化を推進しました。また、総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材の育成に引き続き取り組みました。

財務会計については、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化と急激な物価高騰による収支への影響に対して、適切な執行管理と事務経費の縮減、自主財源の拡充に努めました。

＜施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)＞

業務の実施体制	確認項目	確認欄
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	(有(更新)・有・無)
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	(有(更新)・有・無)
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	(実施・未実施)
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(b~d)
市の施策を踏まえ、関連分野と連携しながら文化芸術振興に向けた取組を推進するアートマネジメント人材の育成を推進するため、文化・芸術分野の実務研修や職層に応じた研修を体系的に実施した。また、市との連携の下、組織の活性化及び市民サービスの向上を図るため、目標管理型人事評価制度を正式に導入した。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策においては、利用人数等の制限や利用キャンセルに伴う利用料金の還付のほか、一部事業の中止又は延期、オンライン配信を含む開催方法の変更など、市及び関係機関との情報共有や連携の下、迅速に対応した。		b

評価の目安(b~d)

- b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。
 c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。
 d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持・管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	(実施・未実施)
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	(不具合等 有 (15件(うち対応15件))・無)
	備品の適切な管理(台帳との照合)	(実施・未実施)
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応、感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(a~d)
設備不具合の早期発見・早期対応により建物全体の長寿命化を図るため、日常・定期点検を積極的に実施したほか、15件の修繕を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン」に基づき、来館者への周知や収容率の制限等を確実に実施した。		b

評価の目安(a~d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え、先進的な対策の導入など、優れた安全対策や維持保全などが行われている。
 b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理、安全対策などをはじめ、施設の維持・管理が適切に実施されている。
 c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
 d: 施設の維持・管理について、抜本的に改善が必要なものがある。

確認項目	確認欄
計画した事業(サービス)の実施	(計画どおり) ・ 一部未実施 ・ 多くが未実施)
利用者数の状況(前年度比較)	(前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) ・ 前年比5%超減)
貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	(前年比5%超増 ・ 同水準(±5%) ・ 前年比5%超減)
新たなサービス(事業)の実施	(有) (7件) ・ 無) 主な実施内容:演劇アウトリーチ事業の実施先拡大(児童館, 地域交流センターに拡大), 「親と子のクリスマスメルヘン『へんゼルとグレーてる』」に赤ちゃん OK デーを設定, 同関連企画 『おかしな家とおかしな鳥』における白百合女子大学, 仙川商店街との地域連携, 音楽事業「あなたのための音楽会」, 施設利用料金支払いに関するQRコード決済の導入
サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	(有) (1件) ・ 無) 主な実施内容:音楽アウトリーチ実施小学校を拡大
職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	(優れている ・ 普通) ・ 要改善)
<p><評価におけるその他の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供 ・施設の設置目的に沿ったサービスの提供及び事業の実施 ・協定書等に基づく施設の開館日・開館時間の遵守 ・利用申請等に対する迅速な対応 ・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供 ・利用者からの苦情や要望等に対する適切・迅速な対応及び市への報告 ・施設の利便性向上・利用促進に関する取組 ・利用者満足度アンケート調査等の結果 など 	
施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(s~d)
<p>施設の利用率は, 91%となり, 改修工事のため, 一部期間において施設の利用停止を行ったものの, 新型コロナウイルス感染状況が落ち着いた影響もあり, 前年度比では増加している。施設利用者アンケートによる満足度(「どちらかといえば満足」を含む。)は98.3%であり, 前年度と同程度の高い水準を維持している。文化施設3館で行われる各種財団事業の運営ほか, モニタリングサポートやアクセシビリティサポートにおいても活躍する文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ」について, 引き続き, 活動内容の充実や活動場所の拡大を図った。</p> <p>新たなサービスとして, 一部事業において保育サービスを実施したほか, 赤ちゃんと一緒に入場できる「赤ちゃんOKデー」を設ける等, 子育て世代が観劇を楽しむことができるような取組を実施した。</p> <p>また, 公演ごとに客層に見合った細やかな時間設定をするなど, 多様なライフスタイルに合わせた事業企画により, 様々な世代に対し, 舞台芸術を楽しむ機会を提供している。</p>	a

サービスの提供

評価の目安(s~d)

- s: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)について, 特に優れた実績がある。
- a: サービスの提供(施設利用, 事業実施など)が適切に実施され, かつ, 前年度実績を上回る実績が複数あるなど, 優れた実績がある。
- b: サービスの提供について協定書等の内容に基づき, 概ね適切に実施できている。
- c: サービスの提供について協定書等の内容に基づく対応が実施されていないものが散見され, 一部改善を要する点がある。
- d: サービスの提供について, 抜本的に改善が必要なものがある。

財務の状況	確認項目		確認欄
	収支計画を踏まえた実績	利用料金収入	(計画比+5%超 ・ 同水準(±5%) ・ 計画比-5%超)
		支出総額	(計画比+5%超 ・ 同水準(±5%) ・ 計画比-5%超)
	収入確保や経費縮減の取組		(有) (無) 主な取組内容: 事業収入の増加及び外部助成金の獲得
	<評価におけるその他の視点> ・指定管理料の適切な管理(帳簿等の整備) ・利用料金等に関する適切な収納及び還付事務の実施 など		
施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)	
文化庁や日本芸術文化振興会の助成金等の獲得とあわせて、寄付金を確保したほか、電力使用量の削減等による経常経費の縮減にも積極的に取り組んだ。 新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用キャンセルに伴う利用料金の全額還付を行ったことによる利用料金収入の減少及び燃料価格の急激な高騰に伴う光熱水費の上昇に対応するため、財団と協議を行い、指定管理料の追加交付を行った。		a	

評価の目安(s~d)

- s: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、特に優れた対応・実績が見られる。
 a: 収支計画等に基づく適切な運営等の実施に加え、収入増加や経費縮減に関して、優れた対応・実績が見られる。
 b: 収支計画等に基づく適切な運営が概ね実施できている。
 c: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に一部改善を要するものがある。
 d: 収支計画等に基づく適切な運営や、その他財務に関連する取組に関して抜本的に改善が必要なものがある。

その他	確認項目		確認欄
	地域等との連携による取組の実施		(実施) (未実施) 主な実施内容: 「親子のクリスマスメルヘン『へんゼルとグレーてる』」関連企画『おかしな家とおかしな鳥』における白百合女子大学、仙川駅前商店街との地域連携
	地域貢献活動の実施		(実施) (未実施) 主な実施内容: 仙川駅前商店街「スタンプラリー」チェックポイント 白百合女子大学子育て支援ルーム「りすぶらん・あんふあん」での事業連携
	<その他評価の視点> ・省エネルギー、省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など		
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)		評価(s~d)
文化芸術活動の発信拠点として、桐朋学園芸術短期大学や白百合女子大学、仙川駅前商店街等の地域における多彩な主体と文化芸術活動を通じた積極的な連携を図っている。 また、せんがわ劇場周辺地域だけでなく、市内全域に向けた舞台芸術の普及啓発を図るため、演劇鑑賞の機会を提供する演劇アウトリーチ事業の実施先を従来の小中学校に加え、児童館、社会福祉法人六踏園が開設した地域交流センターまんまるに拡充した。		a	

評価の目安(s~d)

- s: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、特に優れた対応が見られる。
 a: 4つの視点に関する取組以外に、地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて、優れた対応が見られる。
 b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。
 c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。
 d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について、抜本的に改善が必要なものがある。

<施設所管部署における全体総括>

令和4年度は、財団基本計画を踏まえ、地域の大学や商店街等、地域の多彩な団体との連携による事業をはじめ、演劇・音楽のアウトリーチ事業の実施先の拡充のほか、事業企画における客層の多様なライフスタイルに合わせた細やかな公演時間の設定等、誰もが文化芸術を身近に感じ、文化芸術活動を気軽に楽しむことができるよう、工夫を凝らした事業が多く展開された。

施設管理においては、施設のライフサイクルコスト縮減及び長寿命化を図るための修繕をはじめ、コロナ禍における施設利用に関する周知等、施設を安心・快適に利用するための適切な管理運営が行われた。

これらのことを踏まえ総合的に判断すると、新型コロナウイルスの影響を受けつつも、地域特性を生かし、多様な地域資源の活用・協働による特色ある事業展開や施設利用における利便性の向上に取り組むことで、文化活動への市民参加を推進する重要な役割を担ったものと評価することができる。引き続き、地域における文化活動の拠点として、市民が文化芸術に触れる機会の創出に努めるよう指導していく。

総合評価	A
------	---

総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

